

平成19年9月議会

一般質問

★公共下水道事業処理区域の見直しについて、郷川を境に、北側を合併浄化槽、南側を公共下水道とした根拠は。補助金と分担金の公平性は取れているのか。維持管理費に対する不公平、合併浄化槽の放流同意が得られにくい点をどう考えているのか。認めなければどうなるのか、認めればいつ始まりいつ終わるのか。

現在の計画区域内で、下水道の上流側になればなるほど、20～25年以上先の実施と遅くなり、そこまで待てないとの切実な声も耳にしています。家屋の密集度、集落間の距離、河川の横断等地理的要件をふまえて再計算を行った結果、郷地区においては郷川より北側、和田地区と土居・円宗寺の一部については香々美川より西側、香々美地区においては(株)鏡水より北側が、公共下水道から小型合併処理浄化槽区域となりました。

公平性については、小型合併処理浄化槽の設置工事費のうち、補助金を差し引いた実質的な個人の負担額が、公共下水道及び農業集落排水に接続するときの負担金額と同等になるよう、加算補助金額を決定しています。

維持管理費は、小型合併処理浄化槽の方が高額となっています。公共下水道及び農業集落排水の各会計は、使用料収入では経常管理費をまかなえない現状であり、受益者負担の原則から言うと、下水道使用料の値上げをお願いします。ければと考えています。

放流同意が得られにくい点については、国が安全であると定めた基準内の放流水に浄化できる能力がある物のみ販売していますので、今後地域の皆様にご理解いただけるよう説明とお願ひに上がります。認めていただければ、合併処理浄化槽加算補助金を支

給し、見直しを行って平成36年度最終と予測しています。

★町が出資している法人の経営方針と、(財)富畜産公社・(財)富ふるさと振興公社・(有)ファーム登美の抜本的な改善策について、どのように考えているのか。

現在町内には、財団法人4、株式会社3、有限会社2の合計9つの法人があり、各地域の特色を生かした産業振興を目指して、それぞれの目的に沿った経営がなされています。健全経営を心がけています。

が、昨今の厳しい環境下、いずれも苦戦を強いられているため、一層の経営努力をしていかなければと考えています。(財)富畜産公社・(財)富ふるさと振興公社については、早い時期に民営化できるよう努めます。(有)ファーム登美については、(有)夢アグリ鏡野との統合も視野に入れ、早期に結論付けたいと思います。

★国保病院医療従事者の患者に対する暴言等があったことを把握しているのか。

対応した職員の患者さんに対する言葉遣い等の配慮が足りず、不快感を与え、大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳

なく思っています。職員には、言葉遣い等には特に注意し、患者さんの立場に立った対応をするように、厳重注意をしております。町立病院としての役割を認識し、「優しさと思いやり」のある応対を心がけるよう、職員研修に努めます。

★津山市領家地区に新設計画のごみ処理センターについて、町内隣接地区の住民から同意を得られているのか。本当に安全なごみ処理施設なのか。

行政や協議会の説明が十分になされていないということ、今後は町民に資料を見ていただき、関係地区の方には、協議会から専門的な知識を持つ先生にお越しいただいて、疑念を払拭する努力、理解していただく努力をしなければなりません。

有害物質の発生による子どもたちの健康被害が懸念される点ですが、ハイテク技術を駆使した最新のごみ処理施設は、既存の施設よりも数段処理能力が高く、ダイオキシン等の抑制効力が増大するような施設であることを理解していただきたい。安全、安心を守る立場からも疑念を抱かせる

ような施設は決してつくるべきでないと思っています。

★岡山県プロイラー社周辺のサギ、カラスによる糞の悪臭にどのように対処するのか。

鳥が住み着いている立ち木の伐採に効果が見られるのではないかとことから、地元区長に協力を仰いで、伐採への山林所有者の同意をいただき、総面積3,000²mの立ち木を伐採して、悪臭の元を絶つようにします。今後

も動向に注視し、伐採による効果も見ながら、早期の解決に向けてこの問題に取り組みます。

★子育て支援センターの今後の運営について、どのように検討しているのか。

平成19年度で設計を行い、20年度完成予定で計画を進めています。NPO法人に委託して、3人程度のスタッフで国・県補助をいただきながら運営していきたいと思っています。

★B&G海洋センターの冬季開催について。

これまで冬季間は利用者が減少するため、費用対効果の面からも、12月～3月までを閉鎖してきました。しかし、